



大洲市

デジタル・トランスフォーメーション

DX

推進計画

概要版

大洲市



DXとは？

デジタルトランスフォーメーション
DX（Digital Transformation：デジタル変革）とは、住民サービスの向上を主な目的として、デジタル技術も活用して、新たな価値の創造や仕組みを作り上げることです。
大洲市は、DXを推進して、便利で暮らしやすい社会の実現を目指します。

DXで変わる大洲



大洲市 DX 推進計画の基本理念（ミッション）

デジタルでみんなきらめく 幸せ・安心・誇りある ふるさと大洲

大洲市では、市民や事業者の皆さんとともに、デジタル技術も活用して、誰もが自分らしく生きられる、大洲市民がみんな輝く社会を実現するため、「大洲市デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」を策定しました。

VISION

大洲市が目指す姿 （3つのビジョン）

市民のDX

安全・安心の
デジタル
共生社会



市民の暮らしに関わるあらゆる部分で、日常的にデジタル技術も活用して、全ての市民が自信を持って安全・安心に暮らせる「きらめくおおず」を実現します。

産業のDX

デジタルと
「チームおおず」
による産業の変革



市内各地域で育まれてきた特性や強みとともに、デジタル技術も活用し、市内外の企業等と協働する「チームおおず」の姿勢で、産業のDXに取り組みます。

行政のDX

市民本位のスマート大洲と官民共創

サービスデザイン思考^{※2}に基づく行政運営と官民共創の体制で、市民本位の行政サービスを最適な形で受けられるようにします。



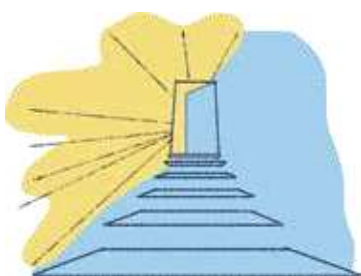
行政のDX

業務の根本的な見直しを行い、行政手続のオンライン化、プッシュ^{※3}型の情報発信、マイナンバーカードの活用等、デジタル技術も活用しながら業務改革を実行し、全ての市民に適切にサービスが行き届く環境整備に取り組めます。



戦略1 聖域なきDXの推進

DXを推進するために、既成概念にとらわれず、例外を設けず、行政のあらゆる仕組みを市民本位の視点で再構築し、市民に寄り添う良質なサービスの提供に努めます。



戦術

- ① DX推進体制の整備
- ② 住基・税等20業務システムの標準化・共通化
- ③ 完全ペーパーレス化とハンコ全廃、電子決裁の実現
- ④ 業務の可視化とBPR^{※4}の徹底的な遂行
- ⑤ 職員本位の業務ツール・システムの導入

戦略2 デジタルシフト^{※5}による選択と集中

これまでの事業の在り方を根本的に見直し、限られた人員と資源の中で、政策や事業の選択と集中を図るとともに、デジタル技術も柔軟に使いこなしながら、真に必要な事業を効果的に推進します。

戦術

- ① DX視点に基づく政策立案
- ② 市有財産のデジタルマネジメント^{※6}



戦略3 手のひら市役所への挑戦



市役所を訪れることなく、スマートフォン等を使って、簡単に行政手続を済ませられる、“手のひら市役所”の実現を目指します。

戦略

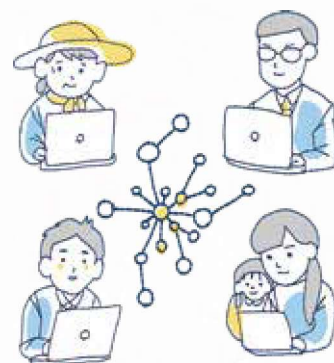
- ① マイナンバーカードによる行政手続のオンライン化
- ② プッシュ型の情報発信
- ③ キャッシュレス収納の実現

戦略4 官民共創の文化醸成

オープンデータの推進や官民共創の基盤「エールラボえひめ」^{※7}の活用等を通じ、自治体はもとより、産学官、市内外のあらゆる企業・団体・個人等と、未来の大洲市を共創する文化を醸成します。

戦略

- ① オープンデータ活用促進
- ② エールラボえひめの活用

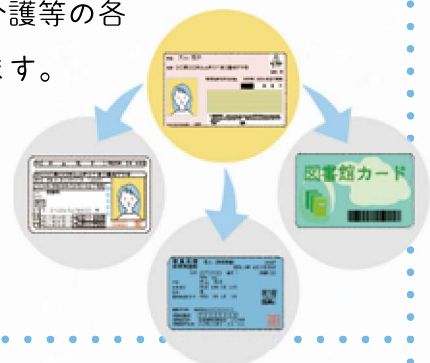


戦略5 マイナンバーカード活用機会の拡充

マイナンバーカードの活用により、市民が健康で自分らしい生活を送れる社会を目指します。結婚、出産、子育て、保健、福祉、医療及び介護等の各分野について、マイナンバーカードの利用機会の拡充に取り組みます。

戦略

- ① コンビニエンスストア等の活用
- ② 各種カードの一体化
- ③ マイナンバーカード活用アプリの導入



戦略6 デジタルリテラシーの向上^{※8}

庁内のデジタル化を加速させるとともに、全職員の情報セキュリティやデジタル技術に関する知識・能力の底上げを行います。

戦略

- ① セキュリティ対策の見直し
- ② 研修等による資質の向上
- ③ 主体性の醸成



市民のDX

住まい・医療・福祉・子育て・教育・防災等、各ライフステージにおいて、デジタル技術も効果的に活用しながら、誰もが健康で安心して暮らし続けることができる社会を目指します。



戦略1 「防災・減災」デジタル大洲の実現

より安全・安心な市民生活を実現するため、データの利活用とデジタル技術を組み合わせることにより、防災・減災分野において、安全・安心を向上させるための取組を積極的に推進するとともに、的確な情報発信による市民の防災・減災意識の向上を図ります。

戦略

- ① 迅速、正確な情報収集・発信
- ② 防災IoT^{※9}
- ③ 防災教育



戦略2 ライフステージに応じた暮らしの変革

デジタル技術も活用しながら、それぞれのライフステージに応じて健康づくりと健康寿命の延伸に取り組み、健やかに暮らせるまちづくりを目指します。



戦略

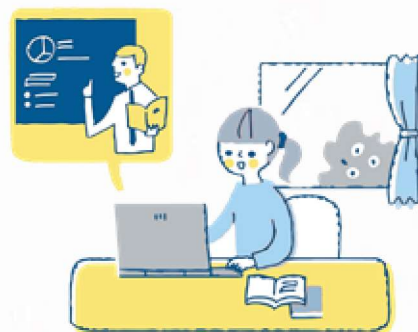
- ① 市民の健康意識向上と次世代型ヘルスケアシステム^{※10}の構築
- ② デジタル化による福祉サービスの充実
- ③ 相談体制のデジタル化

戦略3 デジタルによる教育・学習機会の充実

全ての子どもに対して最適な教育環境を提供するとともに、誰もが人生を豊かにする学習の機会を得られる大洲市を目指します。

戦術

- ① 情報共有による安全・安心の確保
- ② 教育のデジタル化
- ③ 多様な学習機会の提供
- ④ eスポーツ^{※11}の普及
- ⑤ 教職員のリテラシー向上^{※12}
- ⑥ 芸術・文化のデジタルシフト



戦略4 環境に配慮した持続可能なまちづくり



今後の人口減少を見据え、デジタル技術も活用しながら、市民とともに、環境負荷の小さい、持続可能なまちづくりを目指します。

戦術

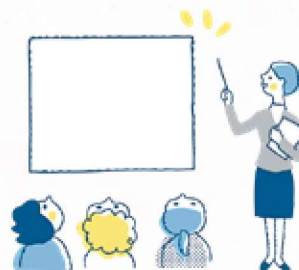
- ① デジタル循環型社会の実践
- ② 交通システムの構築の検討

戦略5 誇りを持てる主体的な郷土づくり

地域コミュニティの活性化に向けて、市民がデジタル技術も活用しながら誇りを持てる持続可能なふるさとづくりを推進します。

戦術

- ① コミュニティ活動のデジタル化
- ② 公共施設維持管理における職員・市民参加
- ③ 情報発信力の強化による移住・定住促進
- ④ 市民とのコミュニケーション



戦略6 誰一人取り残されないデジタル社会の実現



地域、年齢、性別等による格差がなくなり、個々の多様なニーズ、潜在的なニーズに対して、きめ細かな対応が可能なデジタル社会を目指します。

戦術

- ① 情報通信基盤の活用
- ② デジタルディバイド^{※13}対策

産業のDX

デジタル技術も活用した、観光振興や事業者支援、第一次産業の担い手確保等を実現し、地域経済の活性化を図ります。



戦略1 営業活動の強化

これまで取り組んできた営業活動に加え、デジタルマーケティング^{※14}の手法も活用することで、全国的に知名度を向上させ、「大洲ファン」の獲得を目指します。

戦術

- ① デジタルマーケティングの実践
- ② 観光案内のデジタル化

戦略2 ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた事業者支援

ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、デジタル技術の導入等により、コロナ禍で疲弊した経済の活性化を目指します。

戦術

- ① 個別事業者ECサイト構築支援^{※15}
- ② 非接触型決済・オーダーシステム導入支援
- ③ 遠隔地商談会支援



戦略3 スマート農林水産業による価値創造



大洲市の基幹産業である第一次産業を効率化・省力化し、生産性の向上、担い手不足の解消、新たな付加価値の創出を通じて、持続可能な第一次産業を目指します。

戦術

- ① 新規就農支援
- ② 農地・林地情報のデジタル化
- ③ スマート農林水産業の実現

戦略4 官民共創の拠点づくり

地域経済において、デジタル技術の活用が前提となった未来を見据えつつ、既成概念にとらわれることなく、市内外の個人・企業等が、行政とも共創しながら新たな社会を実現していくための取組を促進します。

戦術

- ① 市独自の官民共創拠点整備
- ② 県官民共創拠点とエールラボえひめの活用
- ③ 社会実験フィールドの構築
- ④ 首都圏官民共創拠点の活用



戦略5 DXの推進による地域経済の活性化



地域内で経済を循環させるため、市内での消費を促進し、市民の生活を支える仕組みを構築します。

また、創業支援とともに、既存の市内産業における人材育成・事業活動のデジタルシフトを支援します。

戦術

- ① 産業のデジタル化
- ② 民間人材のデジタルリテラシー向上
- ③ 商習慣の変革
- ④ 地域内経済循環の実現

本計画の全体像

基本理念（ミッション）

デジタルでみんなきらめく
幸せ・安心・誇りある ふるさと大洲

基本方針

市民本位 官民共創
選択と集中 県・他市町との協働

基本姿勢

変革（Change） 協働（Collaboration）
挑戦（Challenge） 対話（Communication）
共創（co-Creation）

位置付け

第2次大洲市総合計画の基本理念・将来像の
実現をデジタル技術で支援する戦略・戦術。
市町村官民データ活用推進計画を兼ねる。

推進体制

大洲市DX推進本部（本部長：副市長）を中心と
した全庁体制。外部デジタル人材の登用等。

計画期間

令和4年度～令和8年度
（5年間）

戦略

主な戦術

行政のDX

聖域なきDXの推進	業務の可視化とBPRの徹底的な遂行
デジタルシフトによる選択と集中	DX視点に基づく政策立案
手のひら市役所への挑戦	マイナンバーカードによる行政手続の オンライン化
官民共創の文化醸成	オープンデータ活用促進
マイナンバーカード活用機会の拡充	コンビニエンスストア等の活用
デジタルリテラシーの向上	研修等による資質の向上

P4, P5 掲載

市民のDX

「防災・減災」デジタル大洲の実現	迅速、正確な情報収集・発信
ライフステージに応じた暮らしの変革	市民の健康意識向上と 次世代型ヘルスケアシステムの構築
デジタルによる教育・学習機会の充実	多様な学習機会の提供
環境に配慮した持続可能なまちづくり	デジタル循環型社会の実践
誇りを持てる主体的な郷土づくり	コミュニティ活動のデジタル化
誰一人取り残されないデジタル社会の実現	デジタルディバイド対策

P6, P7 掲載

産業のDX

営業活動の強化	デジタルマーケティングの実践
ウィズコロナ・アフターコロナを 見据えた事業者支援	遠隔地商談会支援
スマート農林水産業による価値創造	スマート農林水産業の実現
官民共創の拠点づくり	市独自の官民共創拠点整備
DXの推進による地域経済の活性化	地域内経済循環の実現

P8, P9 掲載

みんなで取り組むDX



デジタルでみんなきらめく

大洲市未来MAP



※16
VRを使った
バーチャル旅行



遠隔操作
農作業ロボット



マイナンバーカードを
利用した行政手続き



ABC



コンビニ等で証明書
を自動交付

多言語に対応した
ポータルサイト



地域通貨の利用



遠隔地との
オンライン会議

eスポーツの普及

バスの位置情報が分かる
バスロケーションシステム

ドローンによる
災害時の情報収集

介護支援ロボット

オンラインによる
家庭学習

※17
AR観光アプリ

オンライン診療

スマホ教室

デジタルで 新たな価値の創造を

大洲市では、デジタル技術“も”柔軟に活用しながら、市民や事業者の皆さんとともに、全地域・全産業をあげて、市民生活の質の向上、地域経済の活性化、行政の業務改革等に取り組んでいきます。

併せて、デジタル技術を利用できず、取り残される人がないように、誰もがデジタルに親しみ、その恩恵を受けられるように、必要な取組も進めていきます。

また、DXの推進に取り組む中で、

- 1 市民生活がストレスなく、幸せを感じられる環境づくり
- 2 ふるさと大洲で、自信をもって安心して生活できる、
大洲のこれからのあるべき姿のマインドづくり
- 3 「大洲市出身です！」と若者が胸を張って言える、
オンリーワンのまちづくり

この3点を実現していきます。

大洲市は、これから、DXで大きく変わっていきます。

ですが、DXは、行政のみならず、市民・事業者の皆さんと一丸となつて初めて、達成できるものです。

「チームおおず」で、幸せ・安心・誇りある、みんな輝く「きらめくおおず」の実現に向けて、一緒に歩んでいきましょう。



用語解説

該当番号	用語	説明文	ページ
※1	AI チャットボット	人工知能を活用した「自動会話プログラム」のこと。	2
※2	サービス デザイン思考	利用者側の視点に立ったサービスを提供するため、サービスを利用する際の利用者の一連の行動に着目し、サービス全体を設計する考え方。	3
※3	プッシュ型	利用者が能動的な操作や行動を行わずに、提供する側から自動的に行われる技術やサービスのこと。	4,5
※4	BPR	ビジネス プロセス リエンジニアリング Business Process Re-engineeringの略称。業務プロセスを抜本的に見直し、再構築すること。	4,10
※5	デジタルシフト	従来、アナログで行われていた業務において、デジタル技術を活用し、効率的な業務実施の実現に向けて変化していくこと。	4,7 9,10
※6	デジタル マネジメント	データやデジタル技術を活用し、所有する資産を管理すること。	4
※7	エールラボ えひめ	愛媛県が整備したデジタル基盤。事業者、団体、個人、自治体が課題解決のための情報共有や意見交換をオンラインで行える。	5,9
※8	デジタル リテラシー	現在入手・利用可能な情報技術を使いこなして、企業・業務の生産性向上やビジネスチャンスの創出・拡大に結び付けるのに必要な土台となる能力。	5,9 10
※9	IoT	インターネット オブ シングス Internet of Thingsの略称。従来インターネットに接続されていなかった様々なモノ（住宅・建物、車、家電製品、電子機器等）が、ネットワークを通じてサーバーやクラウドサービスに接続され、相互に情報交換をする仕組み。	6
※10	ヘルスケア	健康の維持や増進のための行為や健康管理。	6,10
※11	eスポーツ	エレクトロニック スポーツ Electronic sportsの略称。コンピュータゲームをスポーツ競技として捉える際の名称。	7
※12	リテラシー	正しく理解・分析し、活用する能力。	7
※13	デジタル ディバイド	情報技術（特にインターネット）の恩恵を受けることのできる人とできない人の間に生じる情報格差。	7,10
※14	デジタル マーケティング	デジタル技術を活用して、製品やサービスを提供するための活動や仕組み。	8,10
※15	ECサイト	エレクトロニック コマース Electronic Commerceの略称。商品やサービスを販売するウェブサイト。	8
※16	VR	バーチャル リアリティ Virtual Realityの略称。仮想現実。コンピューターによって作られた仮想的な世界を、現実世界のように体感できる技術。	12
※17	AR	オーグメンティッド リアリティ Augmented Realityの略称。拡張現実。現実世界に仮想世界を重ね合わせて表示する技術を指す言葉。	13

大洲市 企画情報課 デジタル化推進係

TEL：0893-24-1738

FAX：0893-24-2199

〒795-8601

愛媛県大洲市大洲 690 番地の1



大洲市DX推進計画について
もっと詳しく知りたい方はこちら

大洲市デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画
<https://www.city.ozu.ehime.jp/soshiki/kikakujoho/>